



ファイヤープロ

被覆金属管、合成樹脂管、ケーブルの防火区画貫通部耐火措置工法部材

取扱説明書

耐火ネオスリーブ RT

IRNS-RT

国土交通大臣認定：PS060WL-1139(壁・中空壁)

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

■表示内容を見誤って誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

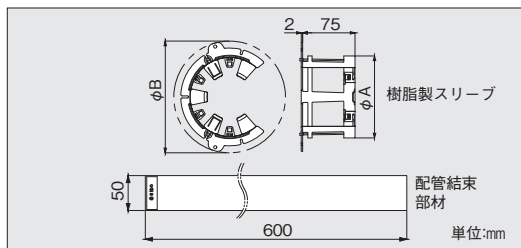
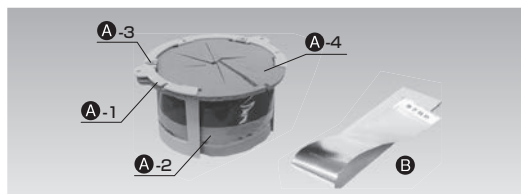
⚠ 警告	国土交通大臣認定書の仕様に基づき、正しく施工してください。 正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。 国土交通大臣認定書については、右記のQRコードを確認してください。	
⚠ 注意	作業時は、作業用手袋などを着用してください。	

お願い

※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。

- サイズ選定の際には、占積率および配管束外径を共に満たすことを確認してください。
- 袋入り充てん材、樹脂製スリーブ、支持金具、耐火フォームは取り外さずに使用してください。
- 支持金具は切断せずに使用してください。
- 袋入り充てん材は破れずそのまま使用してください。
- 袋入り充てん材の内部には補強シートが入っているため、施工前は過度に変形させないでください。
- とがったもので押し込まないでください。袋が破れ、充てん材が流出する可能性があります。
- 中空壁施工には板厚0.25mm以上の鋼製スリーブが必要です。
- 区画貫通部で配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。不十分な場合は袋入り充てん材、耐火フォームにすき間が生じる可能性があり、耐火性能が発揮できません。
- ビスで固定する場合、市販のφ3.8×25L以上のビスを用いてください。
- 低温での施工時は樹脂製スリーブを過度に変形させないよう、注意してください。
- 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。
- 配管結束部材は巻き始めに注意し、切断せずに使用してください。
- IRNS用化粧プレートIRNS-P(別売品)を取り付ける際は、IRNS-RTと同じサイズを使用してください。

仕様



■ セット内容

記号	部品名	材質	数量
A	耐火ネオスリーブRT IRNS-RT	A-1 樹脂製スリーブ	PP
		A-2 袋入り充てん材	—
		A-3 支持金具	SGCC
		A-4 耐火フォーム	—
B	配管結束部材	ALGC	1
—	取扱説明書	—	1
—	国土交通大臣認定品表示シール	—	1

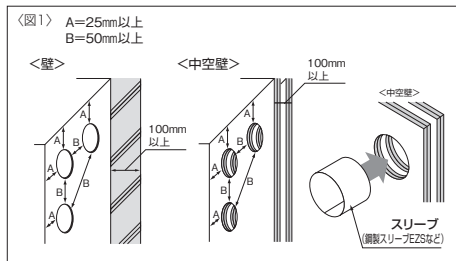
■ 寸法表

型番	適合貫通穴 呼び径(穴径)	寸法(mm)	
		φA※	φB※
IRNS-75RT	φ75~φ80	92	135
IRNS-100RT	φ100~φ110	117	160
IRNS-125RT	φ125~φ135	149	195
IRNS-150RT	φ150~φ160	167	218

※施工後の寸法ではありません。

1. 貫通穴を設ける

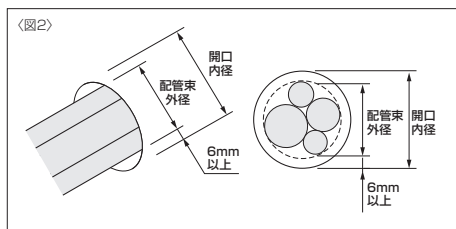
穴間ピッチを考慮の上、製品サイズに適合した貫通穴を設けてください。〈図1〉



※中空壁の場合は必ず壁厚幅のスリーブ(板厚0.25mm以上(当社製品E2S))などを挿入してください。

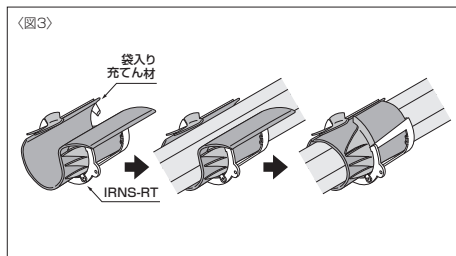
2. 配管・ケーブルの設置

施工する配管・ケーブルの束は、〈図2〉の寸法内に収まるようにしてください。

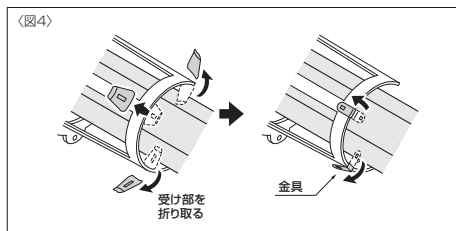


3. 耐火ネオスリーブRT IRNS-RT(以下IRNS-RTと称す)の取り付け

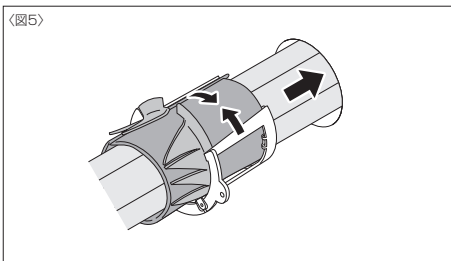
3-1 袋入り充填材の端部を広げ、配管束にIRNS-RTを取り付けてから、配管束に袋入り充填材を巻き付けます。



⑤ 占積率が高い場合(目安38%以上)、樹脂製スリーブの受け部を折り取り、内部の金具を外側へ折り曲げてから配管束に巻き付けてください。〈図4〉

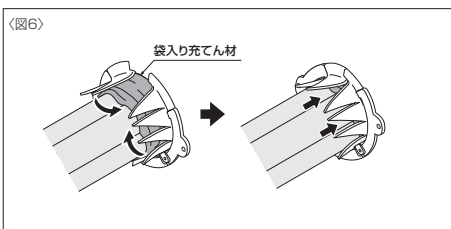


3-2 IRNS-RTを開口径に合わせて径を縮めながら挿入してください。〈図5〉



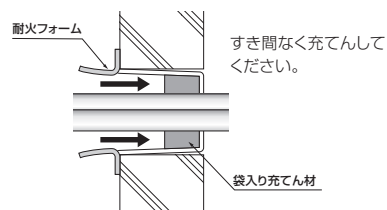
⑥ 開口内に挿入しにくい場合は、樹脂製スリーブの受け部を折り取り、内部の金具を外側へ折り曲げてから配管束に巻き付けてください。〈図4〉

3-3 袋入り充填材を開口内にすき間なく詰めてください。〈図6〉

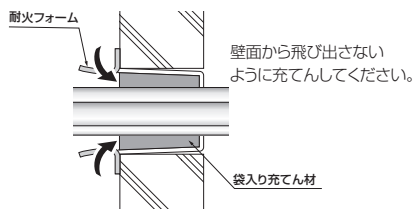


充填イメージ 断面

配管量が少ない場合



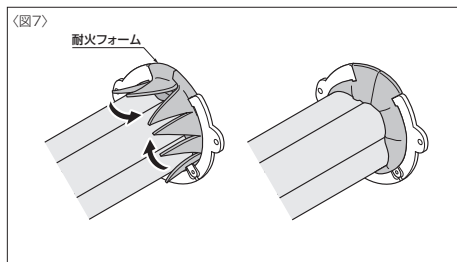
配管量が多い場合



⑦ 壁面にIRNS-RTを固定する場合は、市販のφ3.8×25L以上のビスを使用してください。

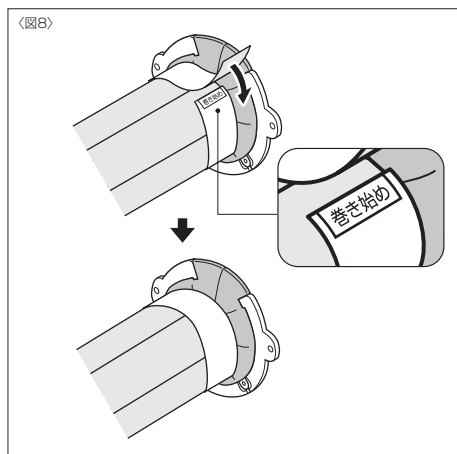
※別売のIRNS用化粧プレート(IRNS-P)を取り付ける場合は、付属のビスで固定できるため、市販のビスは不要です。

3-4.耐火フォームを、配管同士の谷部のすき間に合わせて
詰めてください。〈図7〉



4.配管結束部材の巻き付け

配管束(耐火フォームの近傍)に「巻き始め」側のテープを貼り、
1周以上巻いた後、他端の両面テープで固定して完成です。
〈図8〉

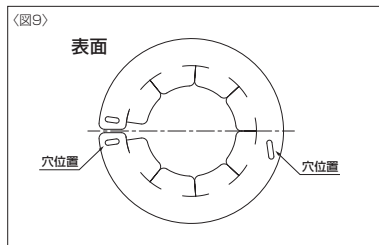


別売のIRNS用化粧プレート IRNS-P (以下IRNS-Pと称す)を取り付ける場合

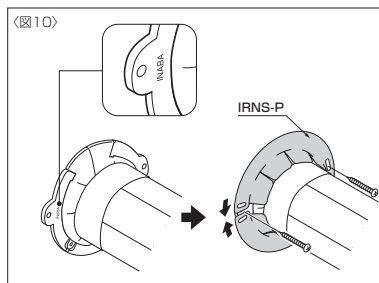
●IRNS用化粧プレート IRNS-P

型番	適用サイズ (IRNS-RT)	セットビス
IRNS- P75	75	φ4.2×32L 2本
IRNS-P100	100	
IRNS-P125	125	
IRNS-P150	150	

1.穴位置からIRNS-Pの表面を確認してください。
〈図9〉



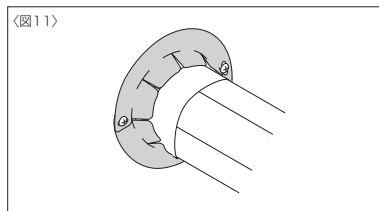
2.IRNS-Pの開き部(長穴が2つの方)を、樹脂製スリーブの「INABA」文字側の穴に合うように取り
付け、穴を重ねて付属のビスで壁面に固定してく
ださい。〈図10〉



① ビスを締めすぎると空回りの原因となるため、注意してく
ださい。

② コンクリート壁の場合は、樹脂製スリーブの穴位置に合
わせて下穴をあけた後、コンクリート用ビス(別売)を用
いて固定してください。

3.IRNS-Pの反対側の長穴と、樹脂製スリーブの穴
位置を合わせ、ビスで壁面に固定してください。
〈図11〉



壁・床構造(国土交通大臣が認定したもの)		壁(ALC・コンクリート)/中空壁	
国土交通大臣認定番号		PS060WL-1139	
壁 厚さ		100以上	
開口部	形状	円形(φ160以下)	
占積率 (開口面積に対する配管・ケーブルの断面積の総合計の割合)		75サイズ:13.0%以上43.1%以下 100、125、150サイズ:13.0%以上45.5%以下	
配 管 種 類	金属管・被覆金属管	被覆外径 φ80(金属管φ38.1、被覆厚 20)以下	
	結露防止層付硬質塩化ビニル管	φ38以下	
	ドレンホース(可とうポリエチレン管)	φ22以下	
	合成樹脂製可とう電線管(CD管、PF管)	PF管:φ36.5 CD管:φ42以下	
ケーブル(銅、ガラス繊維など)		総導体断面積81.5mm ² 、1本当たり外径φ13.5以下(導体22mm ²)以下	

※被覆とは、ポリエチレンフォーム、難燃ポリオレフィンフォーム、ポリスチレンフォーム、フェノールフォーム、合成ゴムフォーム（ニトリル、ブチル系ゴム）、グラスウール、ロックウールを指します。

※金属管とは、銅管(JIS H 3300、JIS H 3320)、銅管(JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、JIS G 3455、JIS G 3456、JIS G 3458、JIS G 3460)、ステンレス鋼管(JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)を指します。

※開口径、配管外径から占積率、配管束外径(開口内径－12mm)を考慮して、製品サイズを選定してください。

